

リコーダーのメンテナンス 「オイルの塗布」

WorkShop TAKU 新林俊哉 tshinba@m6.dion.ne.jp
http://www.h5.dion.ne.jp/~shinba

【目的】

木材は吸湿、乾燥を繰り返すと組織が破壊され、菌類の繁殖で腐敗が進みます。オイルを浸透させることで吸湿を防ぎ、木材の劣化を防ぐのが目的です。塗油の間隔は楽器の使用頻度によって変わります。

【オイルに関する基礎知識】 大別して乾性油と不乾性油があります。

乾性油	不乾性油
煮亜麻仁油 (Boiled Linseed oil 乾燥約1週間)、 亜麻仁油 (Linseed oil 画材用、乾燥約2~3週間)、 桐油 (乾燥約3~5日)、荏油	木管楽器用ボアオイル、 オリーブ油、アーモンド油、椿油、
酸化重合で固化する。乾燥固化に1~3週間かかるが 硬い皮膜ができるので効果が長持ちする。	乾燥性が低く固化しない。水分で徐々に抜けてしま い、効果はあまり長く無い。
拭き残しは固化し、形状変化につながるので注意。	拭き残しても安心。
塗油は購入直後と ・使用頻度が1日平均1時間以上なら年に一回 ・週に数時間程度 1~2年毎に一回 ・週に1時間程度 2年に一回程度	塗油頻度の目安 ・使用頻度が1日平均1時間以上なら数ヶ月毎 ・週に数時間程度 4~5ヶ月毎に一回 ・週に1時間程度 6ヶ月毎に一回

【オイルを塗る場所】

管内部、ジョイント内側、管の木口部分、指穴、歌口の下唇側、エッジ部位を除く表面(ニス仕上げなら不要)

【オイルを塗ってはいけない場所】

エッジ部位周辺、ウインドウェイ内面(天井面、ブロック面両方)、ブロックの底面(エッジ側)。

【オイルの塗り方】

- 1) オイルを塗る楽器は2~3日使用しないで、良く乾燥させる。(吸湿状態ではオイルが浸透しづらい)
- 2) 浸透性を高める為に、テレピン油(画材用で可)を2~3割加え、少し薄める。
- 3) 管内部は掃除棒にガーゼを巻き、薄めたオイルを染み込ませて万遍無く塗る。
- 4) 指穴は綿棒に薄めたオイルをタププリ染み込ませて、指穴の側面へ塗る。
- 5) ジョイント内側、管の木口部分も綿棒でタププリ塗る。木口部分は良く浸透するので数回塗るのが良い。
- 6) 1~2時間程、放置して浸透を待つ。
- 7) 浸透しなかったオイルをしっかりと拭き取る。指穴、ジョイント部分もしっかり拭き取る。
- 8) 乾性油の場合は1~3週間放置して乾燥固化を待つ(酸素が必要なのでケースから出しておく)



ジョイント内側



木口



指穴の側面

【乾性油と不乾性油の使い分け】

煮亜麻仁油(乾性油)を購入直後と年に一度程度のしっかりしたメンテナンスに使用し、指穴、ジョイント部分、木口部分までしっかりオイルを塗油します。数ヶ月毎の手入れでは木管楽器用ボアオイル(不乾性油)を使って管内壁を中心に塗油する程度が良い。面倒であればボアオイルでの数ヶ月毎の手入れだけでも良いです。